



国際ロータリー 第2690地区 第10グループ

玉野ロータリークラブ

■2009～2010年度 役員■
 会 長 東川 清隆
 会長エレクト 岸本 昌法
 幹 事 槌田 正則
 副 幹 事 緋田 秀雄
 S A A 松尾 洋二
 副SAA 近藤 勇進

2009～2010年度
 国際ロータリーのテーマ



国際ロータリー会長 ジョン・ケニー

週報

■事務局/〒706-0011 玉野市宇野1-11-1
 TEL. 0863-33-2228 FAX. 0863-33-2225
 ホームページ <http://www.tamano.or.jp/rotary>
 E-mail tamanorc@tamano.or.jp

■例会場/瀬戸大橋カントリークラブ
 〒706-0153 玉野市滝1640-1
 TEL. 0863-71-4500 FAX. 0863-71-4509

■例会日/毎週金曜日(12:30～13:30)

No.2047	
2月19日例会 プログラム	「ポリオプラスの現状」 松尾 洋二君
2月26日例会 プログラム	「アメリカ発金融危機とその後」 元山陰合同銀行個人融資担当 瀬山 純一様
2月19日のメニュー ・石狩鍋・フグのから揚げ・豚バラの煮付・海鮮丼・コーヒー	

前回(2月12日)例会記録

出席報告	会員総数	33名	出席者数	25名	欠席者数	8名	出席率	75.76%	前回補正率	90.91%
	前回補正者	藤田君 東川君 井上君								
	欠 席 者	星野君 井上君 三谷君 仲田君 小野君 立石君 上原君 山田(次)君								

会長挨拶

皆様今日は。先週は署での確定申告の応援で例会欠席しました。遅くなりましたが、先日のIMでは藤田ガバナー補佐、白石IM実行委員長、本当にお疲れ様でした。また各部門での委員長、会員皆様の職責により無事成功裏に終えることができたことと感謝しています。2月10日岡山丸の内ロータリークラブにお礼の挨拶に行きましたが、皆さんから「いいIMだった」と言われましたと喜んでおられました。本当にありがとうございました。この後何事もなければ残された行事は4月の大阪リバーサイドロータリークラブの30周年式典参加となりました。これからは残った行事をゆっくりと終えながら岸本次期会長にバトンタッチが出来るよう努めてまいります。

引き続き皆様方にはご協力をお願い致します。

藤田ガバナー補佐挨拶

皆様今日は。会長からお話がありましたようにIMが済みました。各方面から「おめでとう！おめでとう！」という言葉頂きまして疲れがとれたという感じになっております。本当に皆様方のご協力のお陰で成功裏にIMが終わったと思っております。IMのメインであるパネルディスカッションにおきましては、急遽時間的な調整のためにエコライフ玉野の活動報告を入れさせて頂きましたが、三宅保昭さん、三宅孝治さん、谷口さんに急遽お願いしたところ、きちんとやって頂きました。本当に心より感謝を申し上げます。宮原さんにお話し致しました野上さんのお話は本当に生々しいお話でございましたし、皆さんから良かったという評価を頂きました。懇親会におきましては、富永さんの娘さんも入っておられましたフラダンスの評判も良かったと聞いております。何回も岡山で打合せがありましたが、精神的にも非常にきつい時期でもありましただけに本当に成功するまでは不安でありました。そのような時に、白石さん、東川さん、槌田さん、宮原さん、富永さんを始めとして皆様が心の支えになって出来上がったと思っております。そして本当にロータリーに入っていて良かったと実感しております。

今後とも頑張っていきたいと思っております。本当にありがとうございました。

幹事報告

- ・ 国際ロータリーよりRIと財団のプログラムならびに財務に関する情報が収められた2008-2009年度年次報告書が届いております。
- ・ ハイチ大地震とカンボジア共和国保健支援(蚊帳の寄贈)寄付金のお願ひ。募金箱を廻しますので1人当たり1,000円以上の寄付をお願いします。
- ・ 他クラブ週報、例会変更通知は回覧させて頂きます。

委員会報告

- ・ 社会奉仕委員会(三宅(孝)委員長)：「宇野港の桜公園・桜の並木道」の施肥と清掃及びモニュメントの清掃のご案内、日時：平成22年2月14日(日)11:00～12:00 集合場所：宇野港シーサイドパーク。

- ・ 米山記念奨学会(石川委員長)：①本日の米山ランチへのご協力ありがとうございました。②マリンカップのご案内、開催日：平成 22 年 3 月 11 日(木) 開催地：玉野ゴルフ倶楽部
- ・ 出席プログラム委員会(谷口委員長)：2009-2010(1月～6月)プログラム予定表後期改訂版の説明。
- ・ ハイロー会(谷口ハイロー会幹事)：①第 170 回ハイロー会開催案内、日時：平成 22 年 3 月 28 日(日)9:38～OUT 場所：東兎ヶ丘マリンヒルズゴルフクラブ。②ハイロー会 2010 年日程表の説明。

スマイル・ボックス

- ・ 藤田君－IM 成功裡に終えることが出来ました。大役を果たせました。皆様のおかげです。ありがとうございました。
- ・ 東川君－IM では皆様ありがとうございました。
- ・ 小野田君－孫がエジンバラ大学に入りました。
- ・ 石川君－①本日米山ランチでした。ご協力ありがとうございます。②宣伝させて頂きました。
- ・ 三宅(孝)君－卓話をさせて頂きます。

プログラム 「識字率向上月間に因んで」 社会奉仕委員会 三宅 孝治委員長

<識字率向上月間(Literacy Month)とは>

識字能力の向上を図る目的で、1997～98 年度 RI の強調事項に指定された。

さらに、1997 年 7 月に、毎年 7 月を識字率向上月間と定め、現在発展途上国では RC と地区の識字率向上プロジェクトで、多くの人達が読み書き、計算を学んでいる。

RI のこの識字能力向上プログラムは、『ライトハウス(灯台)作戦』と名付けられ、この運動は、タイで最初に実施され、その後多くの発展途上国で成功を収めています。

2006-07 年度から、識字率向上月間は 3 月に変更になりました。

<RC の活動>

ライトハウス識字プロジェクト(Lighthouses Literacy Project)

1997～98 年度国際ロータリー識字・計算能力向上実行グループは、発展途上国の 10 億人に識字能力向上を推進するキャンペーンを具体化し、世界中のロータリアンに参加するように呼びかけた。

RI のこの識字能力向上プログラムは「ライトハウス(灯台)作戦」と名付けられ、この運動は、タイで最初に実施され、その後多くの発展途上国で成功を収めている。灯台が安全な航路を示すように識字を通じて人々に歩む道を示すことを目的としている。ライトハウス・プロジェクト(ライトハウス作戦)は、識字率向上プログラムを開発するための 3H プログラムから生まれた。

語学力集中研修講座(CLE: Concentrated Language Encounter)

CLE は最初、タイの学校向けに開発された教授方法で、読み書きを中心とした識字教育を目的としている。現地で教育プログラムの内容が決められるので、自分達の文化遺産に対する理解を深めたり、さらに保健・環境その他の問題への認識を高めるのに役立っている。RI のライトハウス・プロジェクトは、オーストラリアの言語学者・ウォーカー博士(1997-98 年度 RI 識字・計算能力向上グループ、ゼネラル・コーディネーター)の提唱するこの手法によって、顕著な成果をあげている。

現在、タイのすべての国立学校で採用されているほか多くの発展途上国で取り入れられている。

最後に 2006-07 年度地区大会での藤川 RI 代理の講演の一部(識字率向上・水保全・新世代の育成)をビデオでご覧になって頂きたいと思います。(以降、ビデオ放映)

以上、識字率向上について理解を深め、識字率向上にご協力頂けますようお願い致します。

※引用文献

ロータリー用語集

<http://www2s.biglobe.ne.jp/~madamada/rotaryterms/rotaryterms.htm#menu> (2010 年 2 月 12 日)